

(別添)

## 1 「街の彩ガーデン」に使用する神戸産の花について

### (1) 切花

#### 北区淡河町産の新鉄砲ユリ「神戸リリィ」

「神戸リリィ」は、北区淡河町で独自に育成されたオリジナルの新鉄砲ユリの愛称です。長年にわたる品種改良の末、より強く、大きく、凛と咲く高級ブランドのユリの花として、多くの花市場から日本一と評価されています。

「神戸リリィ」は現在 13 戸の生産農家のグループ「淡河ゆり部会」により生産・出荷され、オリジナルオーゴ・ミスオーゴ・プリンセスオーゴの 3 品種があります。



#### 北区山田町産の菊

神戸市北区山田町では菊の生産が明治 40 年頃に始まり、生育途中で 2 輪咲きに仕立てる二輪菊を中心とした菊の産地となりました。山田町では生産者がそれぞれに育種を行っており、多様な色と長持ちする品種の栽培技術の高さが花市場で高く評価されています。

現在は二輪菊を中心に、多くの山田町オリジナル品種が栽培されています。

### (2) 花壇苗

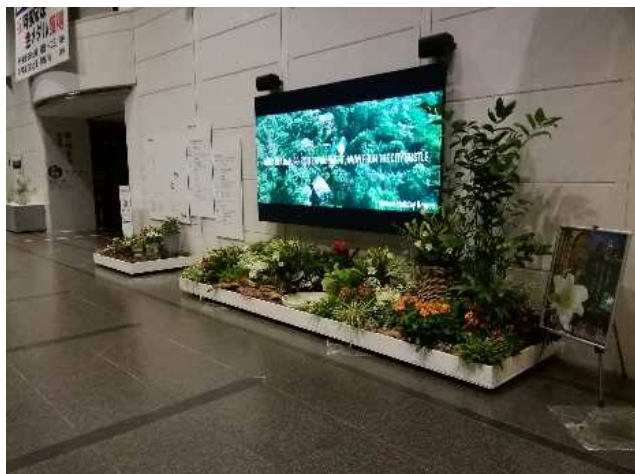
#### 西区伊川谷町産の花壇苗

神戸市西区伊川谷町では、一年を通じて約 400 万鉢の多種多様な花壇苗が栽培されています。伊川谷町産の花壇苗は、根の張りが良いため、植えてからの育ちがよいことで関西の花市場から高い評価を得ています。

## 2 神戸の花による「街の彩ガーデン」について

神戸市では市内で生産されている花の美しさとその産地を広く知っていただくため、2014 年から神戸市役所ロビーで四季折々の神戸産の花の展示を始めています。その後、デュオこうべなどにも展示場所を拡大し、「街の彩ガーデン」として、よりたくさんの皆様にシーズンごとに神戸産の花を楽しんでいただく機会をお届けしています。

<過去に実施した展示の様子>



<フラワープリンセスひょうご2022>

